

令和5年度
学校関係者評価報告書

令和6年3月31日

学校法人 城西学園
城西放射線技術専門学校

1. 学校関係者評価の目的

学校関係者評価委員会は、城西放射線技術専門学校の運営状況（教育理念・目標、教育活動の現状や課題、経営状況など）について委員会メンバーから意見を聞き、学校運営を外部から評価することで改善に取り組むことを目的とする。

2. 学校関係者評価委員会

日 時：令和6年5月11日（土）

場 所：オンラインにて実施

出席者：学校関係者評価委員会委員、本校教職員

学校関係者評価委員会の人選は診療放射線分野、学校関係者、同窓会より人選し、学校長が任命した。

3. 評価対象期間

2023年4月から2024年3月

4. 評価は下記の点に留意し、自己点検と同様に4段階評価（4：大変良い 3：良い 2：あまり良くない 1：良くない）とした。

- 1) 自己評価結果の内容が適切か
- 2) 改善策が適切か
- 3) 改善に対する取組が適切か

基準1 教育理念・目的・育成人材像

	評価項目	評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められている	3
2	教育理念・教育目標・育成人材像は専門分野におけるニーズに伴っているか	3
3	理念達成に向けた教育活動を行っている	3
4	教育理念・教育目標が周知されている	3

【評価・意見】

- ・教育目的は国家試験合格と明確であり、学校関係者は全員の周知されること。
- ・医療現場において、コロナ前後で環境は大きく変わっている。実習先や非常勤講師らから求められる人材についてヒヤリングをすること。

基準2 学校運営

	評価項目	評価
1	目的に合った運営方針が策定されている	3
2	運営方針に沿った事業計画が策定されている	3
3	運営組織や意思決定機能は規則等において明確化され、有効に機能している	3
4	人事、給与に関する規定等は整備されている	2
5	組織整備など意思決定システムが整備されている	3
6	教育活動に関する情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っている	2

【評価・意見】

- ・城西中学、高校と併せた学校法人となっているが、比較すると学生数や教職員数が少ないため、組織が弱く意見が通らないことを懸念している。
- ・教育活動のシステム化が進んでいないように思われる。
- ・教職員が少ない中、目標とされる項目が多く安易に改善できないものも多数ある。組織の問題などは学園として取り組むものなので、発言できる場と受け入れる体制が必要。

基準3 教育活動

	評価項目	評価
1	理念・目的に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めている	3
2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3
3	授業評価の実施・評価体制は整っているか	3
4	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確か	4
5	資格取得に関する指導体制は確立されているか	4
6	教員の資質、指導能力向上のための取組が行われているか	3

- ・新教育課程となり時間数も増加しているが、体育など国家試験と直接影響のない科目は残っている。必ず行う必要があるか、カリキュラム変更の際に検討してほしい。

- ・ 国家試験合格に向けての補講授業を行っていることは評価できる。しかし、そのことが教員の業務過多や学生の負担に繋がることはあってはならない。

基準 4 学修成果

	評価項目	評価
1	就職率の向上が図られている	4
2	資格取得率の向上が図られている	3
3	退学率の軽減が図られている	2
4	卒業生・在校生の社会的な活動や評価を把握している	3

【評価・意見】

- ・ 退学者が例年 15 人前後だが、当該年度は 27 名と多い。この原因を明確にして、改善に取り組みなければならない。
- ・ 例年、退学者は 4 年次になってからのものが多く、今年度は特に目立っている。各学年の進級時の学力判定をより厳格に行い留年等の措置をとることで、学力が伸びない学生を 4 年次までいたずらに進級させることがないようにすることも必要と思われる。
- ・ 国家試験以外にも放射線取扱主任者の資格取得に向けた講座の開催を検討してみてください。就職活動に拍が付きませす。

基準 5 学生支援

	評価項目	評価
1	進路指導に関する体制が整備されているか	3
2	学生生活に関して相談できる環境は整備されているか	3
3	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2
4	学生の経済的な支援体制はあるか	1
5	保護者と適切に連携しているか	3
6	卒業生への支援体制はあるか	3
7	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	2

【評価・意見】

- ・ ハラスメントの規定を備えているとの事だが、在校生へ相談先（担当者名や連絡先など）を掲示するなどし、機密事項として相談しやすい体制を整えるよう努めてください。
- ・ カウンセリングを決まった時間で行うようにした成果は得られたのか。学生のメンタルケアとして有効活用してほしい。
- ・ 高等教育の修学支援新制度が使えず、職業教育給付金の対象にもなっていない社会人はキャリアチェンジを検討する際に経済的なサポート制度が乏しい。稼ぐために働き勉強時間を捻出できないようならば本末転倒になるため、独自の経済支援制度を検討して入学した学生のやる気を損なわないでほしい。

基準 6 教育環境

	評価項目	評価
1	施設・設備は教育上、十分に対応出来るよう整備されているか	4
2	学外の実習やインターンシップについて十分な教育体制が整備されているか	3
3	防災に対する体制は整備されているか	3

【評価・意見】

- ・インターンシップとしての病院実習では、臨床実習先との連絡会を日本医療科学大学と合同で設けるなど実習先以外にも教育関係者同士で情報交換が行われている点は評価できる。
- ・夜間に学生が集まるため、地震による停電や帰宅に際して昼間部よりも対策が必要。
- ・施設、設備は指定規則で必要なものは揃っている。
- ・1年次の病院見学は入学したての学生にとって学習のモチベーション向上に有効と思われる。病院側の協力が得られれば、毎年実施して欲しい。

基準 7 学生の募集と受け入れ

	評価項目	評価
1	学生募集活動は、適正に行われているか	2
2	教育成果の情報提供は正確に伝えられているか	3
3	入学選考は、公正かつ公平な基準により行われている	2
4	学納金は妥当なものとなっている	3

【評価・意見】

- ・オープンキャンパスの回数が多くオンライン説明も併せて行っているとのことで、教員の負担になっていないか。SNSなどを使った分野からの広報活動にも力を入れていく必要があるのでは。
- ・生徒数の確保も大事だが医療従事者として適正があるか、国家試験合格に対して以外にもその人の先を見据えて合否を行って欲しい。
- ・学納金は他校と比較して高額とは思わないが、物価上昇の影響などを考えると実習日数が増えたとはいえ、これ以上値上げすると学生募集にも影響する。不要な経費を使わないよう全教職員による努力が必要。

基準 8 財務

	評価項目	評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	2
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2
3	財務について、会計監査が適正に行われているか	3
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4

【評価・意見】

- ・法人として会計監査を受けており、概ね問題はないと思われる。
- ・実験機器は高額なものも多いため、計画的に予算建てをしていく必要がある。
教務と財務、または中学高校と連携を取らなければならない。

基準 9 法令等の遵守

	評価項目	評価
1	法令、設置基準を遵守し、適正な運営がされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己点検・自己評価の実施と問題の改善に努めているか	3
4	自己点検・自己評価の結果を公開しているか	4

【評価・意見】

- ・ハラスメントや個人情報など規定として明示しなければならないことが年々増えている。専門学校が単独で規定を作成して良いか、学校法人として作成すべきなのか。学校法人としての規定ならばどのように決められるのか。
- ・自己点検は問題を改善する必要性と優先順位を検討することも必要となるため、具体的な振り返りではなく、各自が意見を述べて全員が共通認識を持ったうえで行動することが必要である。

基準 10 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価
1	学生の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
3	地域活動に積極的な参加をしているか	1

【評価・意見】

- ・文化祭で機器操作体験を行えたことは、併設している高校生やそちらに参加している人にも有益なことなので、次年度も続けてほしい。
- ・昼間に仕事やダブルスクールなどが出来ることが魅力で入学してくる人が多く、ほとんどの学生はボランティアに費やす時間がない。